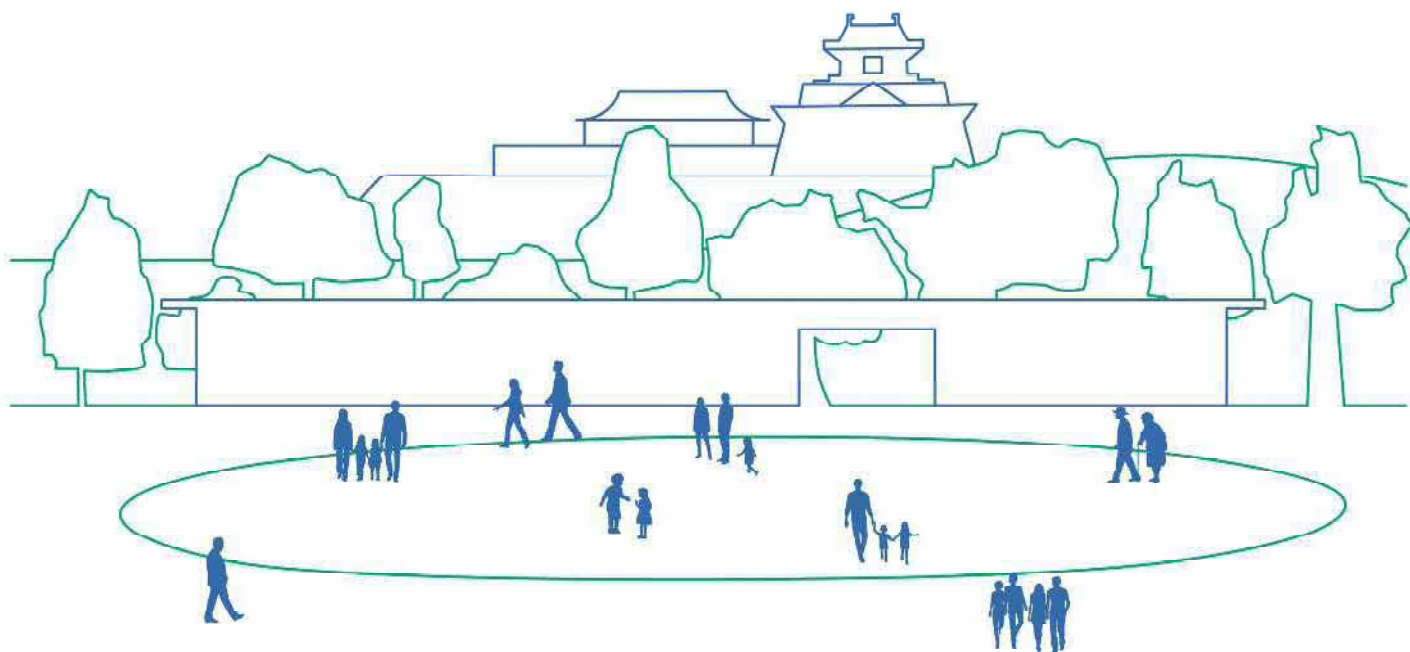


徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設
基本計画作成業務委託

企画提案説明書

日本設計・乃村工藝社共同企業体



Ⅰ 現状調査・前提条件の整理【別紙1.ア】

計画を取り巻く状況を正確に把握し、実現性を踏まえた提案をします

①文化財保護法、建築基準法、消防法等関係法令の他、当該敷地や建築物に係る法令

■ 敷地や建築物に係る各種関連法令の整理と関係者へのヒアリングの実施

- ・ 歴史上、学術上価値の高い文化財保護のため、**文化財保護法を遵守し、浜松市市民部文化財課ほか関係者へのヒアリング**を行い、留意事項を整理します。
- ・ **建築基準法や消防法などの関係法令**に関しては、敷地や施設の特性を十分に理解し、**浜松市の関係官庁へのヒアリング**を行い、留意事項を整理します。

②文化財の展示収蔵施設に必要な国が示す要件

■ 国の指針や要件について適切な時期に文化庁と協議を行い課題を整理

- ・ 文化庁の「**文化財公開施設の計画に関する指針**」や「**文化財（美術工芸品）保存施設、保存活用施設設置・管理ハンドブック**」について、適切な時期に**文化庁等と協議**を行い、手戻りなく基本計画を立案します。
- ・ **美術館・博物館の大規模改修及び新築、文化庁協議の実績**が豊富な担当者を中心に協議を進めます。
- ・ 市から提示される**文化財のリスト**に基づき、法令の確認を行うとともに、**収蔵資料を適切に展示及び保存環境の確保**ができるよう、**温湿度環境を維持するための空調・電気設備等のリストアップ**を行います。

③埋蔵文化財保護との整合

■ 埋蔵文化財の調査記録を確認し、埋蔵文化財に配慮した建設可能用地や建設方法を整理

- ・ これまでに行われた**埋蔵文化財の調査記録を確認し**、埋蔵文化財と干渉しない**建設可能用地の絞り込みや、埋蔵文化財の保護に留意した建設方法の検討**を行います。
- ・ **本丸北東隅の石垣**の発掘調査記録を確認し、保存方法に配慮するとともに、**活用を踏まえた展示方法の検討**を行います。



□本丸北東隅石垣の展示

④当該敷地及び周辺地域に関する市の計画との整合

■ 浜松城公園長期整備構想などの上位計画を理解し、本施設計画との整合を図る

- ・ 「**浜松市総合計画**」「**浜松城公園長期整備構想**」などの上位計画を十分理解し、施設の配置計画を検討します。
- ・ **浜松城や浜松市美術館、松韻亭**など拠点となる既存施設との**連携**を踏まえた施設計画とします。
- ・ **周辺の緑豊かな広場**と隣接した立地を活かし、市民が親しみやすく**地域との連携**を考慮した施設構成を検討します。

⑤当該敷地の安全性の確認（がけ地、擁壁等）

■ 歴史的価値のある城址の地形に配慮しつつ、安全性の調査や対応方法を整理

- ・ 浜松城公園は**階段状の地形**であり、敷地外周は**がけ地や擁壁**が多くを占めるとともに、敷地の北側や南西側は防災マップにおける**危険区域**でもあります。そのため、既存擁壁の**安全性の確認**や建物配置について注意深く検討します。
- ・ **歴史的価値のある城址としてのがけ地**であるため、安全性を確認する調査については慎重に対応します。
- ・ 敷地外周の擁壁の安全性確認のため、**現地調査や調査会社へのヒアリング**に基づき、必要な**調査項目のリストアップ、調査業務費の検討**を行います。
- ・ 敷地周辺のインフラの確認を行い、基本計画以降に必要な**調査業務の概要をリストアップ**し、豪雨による**がけ地の崩落等の予防措置**を検討します。

イ 業務実施方針に関する事項 [別紙1の業務説明資料及び添付書類に示す業務内容に関する業務実施方針を記載する]

実績と調査に基づき、収蔵品に対して最適な設定条件を提案します

⑥展示収蔵資料のデータ整理、分類

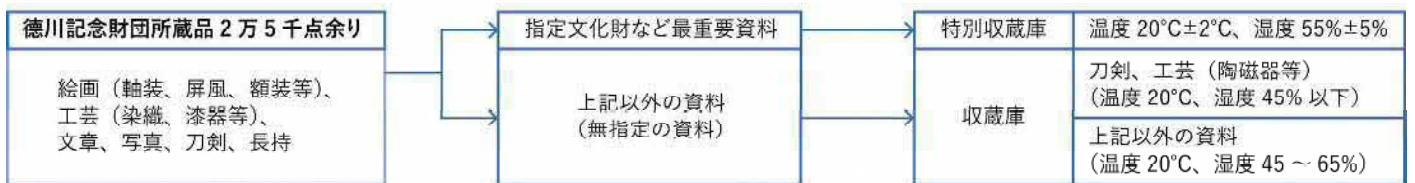
資料リスト分析や各種ヒアリング等により、展示収蔵施設整備に向けた検討素材を整理

- ・2万5千を超える資料リストに基づき調査します。指定文化財など最重要所蔵品の把握、材質等による分類、資料サイズの確認等により、**展示収蔵施設に必要なボリューム**を明らかにします。
- ・分散保管される所蔵品並びに各収蔵庫での保管状況を現地調査します。社内の知見を集めるなど専門性の高い情報を集約し、**新収蔵庫の規模や性能、仕様等の設計と件を抽出**します。
- ・国内外の先進事例を調査・ヒアリングし、展示収蔵に関する**最新の知見を計画に反映**します。

STEP1：所蔵品の収蔵条件を整理、分類

【資料の分類&ボリューム把握】

【収蔵庫の仕様や条件等を設定】

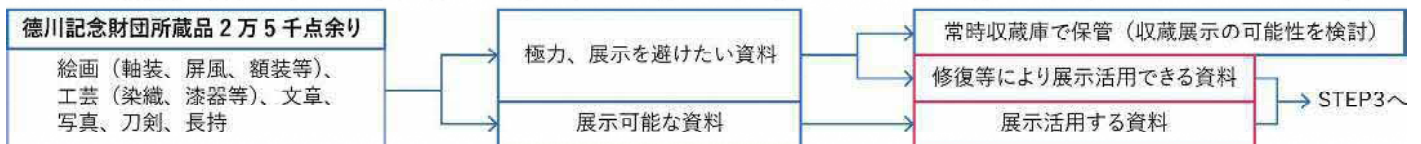


※ICOMの相対湿度の基準に基づく

STEP2：所蔵品の展示方針を整理、分類

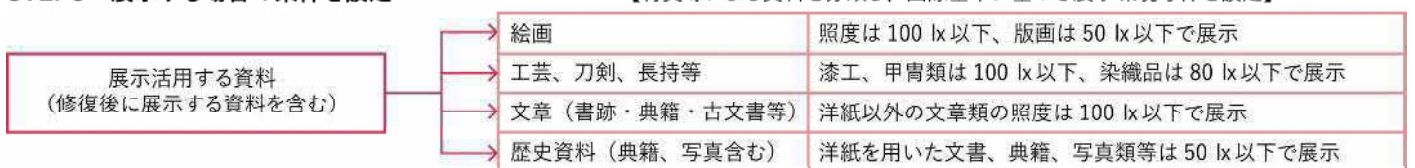
【展示活用の可否による分別】

【（可能な限り）展示活用の可能性を追求】



STEP3：展示する場合の条件を設定

【材質等による資料を分類し、国際基準に基づき展示環境と件を設定】



□所蔵品の収蔵・展示の整備手段イメージ

□国内施設のヒアリング先候補

栃木県立博物館・新収蔵庫

2021年開館。県内の貴重な資料の収集、整理、保管に加えて、各種教育普及事業も実施。

兵庫県立人と自然の博物館コレクションナリウム

2021年開館。展示や交流機能を備えた新しい収蔵庫として整備。

□国外施設のヒアリング先候補

国立民俗博物館坡州(バジュ・韓国)

2021年開館。開かれた収蔵庫や見える収蔵庫、見える保存科学室、子ども体験室等で構成。

⑦他都市の類似施設整備事例の収集、整理

博物館への実務実績の活用により、基礎情報に最適な事例を収集し整理

- ・博物館の展示等整備における国内有数の実績に加え、運営業務の豊富な経験を活かし、これまで蓄積してきた事例を基礎情報にして**類似施設整備事例を取りまとめ**ます。
- ・本事業に参考になるポイントとともに、先進的な取り組みや展示・収蔵のあり方、運営手法などに関連した**注目事例を整理**します。
- ・今後の展示や収蔵、運営の具体化に際して、**活用しやすい資料づくり**を行います。

□施設整備実績と参考ポイント例



徳島県立博物館

インクルーシブデザインの手法を取り入れた展示空間づくりを実践。



滋賀県立琵琶湖博物館

大人も楽しめる知的エンタメ空間「おとなのディスカバリー」を具現化。



浜松科学館

地域企業等から一部事業の運営資金を募る「運営サポーター制度」を創設。



佐賀県立宇宙科学館

クラブ会員制度や会員限定プログラム等を開催するなど、ファンを拡大。

企画提案説明書

イ 業務実施方針に関する事項 [別紙1の業務説明資料及び添付書類に示す業務内容に関する業務実施方針を記載する]

II 大河ドラマ館及び関連施設の改修検討【別紙1.イ】

綿密な現状把握と実現性を検討し、未来に継承する改修方針を提案します

■ 既存施設や敷地を評価・分析し、新たな施設計画に向けた課題を整理

- ・ 既存施設を仮設建物、空地、敷地境界などに分類し、着目点や問題点を評価・分析し、新たな施設計画に向けた解決方法や課題を整理します。

■ 建物

1. ショップ棟

解決方法	再生材利用、配置計画を含め検討
着目点	鉄骨、外装は再生材の活用が可能 空地活用に適した範囲
問題点	外装が仮設の仕様

2. 通路シェルター

解決方法	再生材利用、配置計画を含め検討
着目点	天竜材を活用した構造体
問題点	屋根材が仮設の仕様 周辺施設との関連による

3. オフィス棟

解決方法	再生材利用、建物規模を含め検討
着目点	鉄骨、外装は再生材の活用が可能
問題点	外装が仮設の仕様 規模の最適性 浜松城、園路側への表情

4. ドラマ館

解決方法	再生材利用、建物規模を含め検討
着目点	鉄骨、外装は再生材の活用が可能
問題点	外装が仮設の仕様 収蔵機能、耐火性能 浜松城、園路側への表情、搬入口位置

■ 園路側境界

解決方法	施設の表情、接続方法の検討
着目点	園路側の活性化
問題点	敷地段差

■ 元城2号線側境界

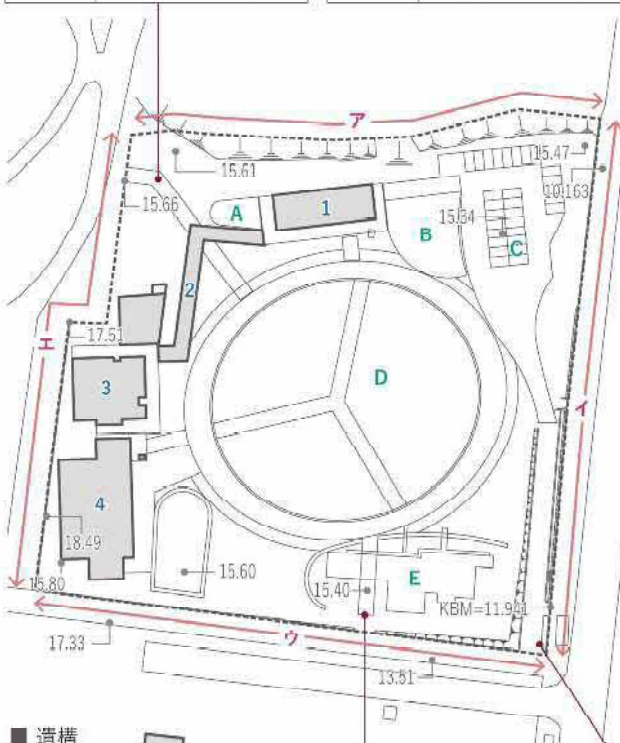
解決方法	樹木整理による眺望確保
着目点	浜松城軸にある道路
問題点	並木による眺望阻害

■ サブゲート

解決方法	位置、規模、他ルート追加の検討
着目点	国内、街歩きルートの起点
問題点	園路側への表情、構え

■ ア. 駐車場側境界

解決方法	調査、解析による安全確保
着目点	桜並木、歴史的遺構
問題点	急傾斜地崩壊危険区域



■ 遺構

石垣、井戸、瓦集積、堀

解決方法	関係者との協議
着目点	遺構の展示
問題点	保護に配慮した展示方法

■ メインゲート

解決方法	大勢を迎え入れる仕上げに配慮
着目点	主要な動線であり、浜松城への視点場ともなる
問題点	二の丸御殿の遺構がある

■ 空地

A. ウッドデッキ

解決方法	再生材利用、配置計画の検討
着目点	東京2020のレガシー建材活用
問題点	周辺施設との関連による

B. イベントエリア

解決方法	規模、配置位置の検討
着目点	キッチンカー設置などの利便性
問題点	周辺施設との関連による

C. 関係者駐車場

解決方法	規模、配置位置、緑化、隣地駐車場利用も含め検討
着目点	浜松市内への眺望確保
問題点	公園空地(緑地)の制限

D. 屋外スペース、屋外ステージ

解決方法	植栽計画、仕上げ材を検討
着目点	都市のオープンスペース、浜松城への眺望
問題点	木陰などの滞在促進の要 遺構の保護、仕上げの耐久性

E. 二の丸

解決方法	設え、仕上げの検討
着目点	浜松市内への眺望確保 エントランス空間としての広がり
問題点	仕上げの耐久性

イ. 国道152号線側境界

解決方法	設え、仕上げの検討
着目点	城郭としての土地形状
問題点	通常のコンクリートブロック擁壁 敷地との高低差

■ 関係者ゲート

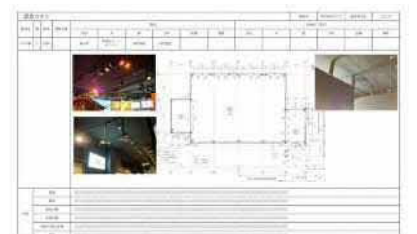
解決方法	メインゲートとの使い分け対応
着目点	国道接道、長期整備構想上の正門
問題点	60mのスロープ

□ 網羅的な既存施設の評価と提案内容の分析イメージ

- ① 仮設建築物から常設建築物への変更にかかる各種法令不適合事項（特に構造規定、耐火規定など）の変更可能性調査

■ 既存施設の図面類を読み解き、現地調査により常設建築物への変更可能性を検討

- ・ 既存施設の図面、構造計算書及び仕様書などの資料調査、敷地や既存施設の建築、構造及び設備などの現地調査を行います。
- ・ 既存施設は暫定施設として、1年仮設を前提とした部材・材料などにより構成されていると考えられます。主要構造部及び構造耐力上主要な部分に使用している材料は、いずれも建築材料の品質に関する基準（建築基準法第37条）に適合していることを確認されていますが、その他の仮設建築物における緩和条項についても、チェックリストを作成し、確認を行います。
- ・ 建物や室ごとに調査カルテを作成し、改修計画に反映し精度を高めます。



□ 建物や室ごとの調査カルテのイメージ

Ⅱ 大河ドラマ館及び関連施設の改修検討【別紙1.Ⅰ】

既存施設と計画地を詳細に確認・評価して、改修方針を構築します

② 上記調査結果に基づく活用方法及び用途の検討

■ 常設建築物の用途・構造・規模などの条件を踏まえ、仮設建築物から常設建築物への変更に関する課題を整理

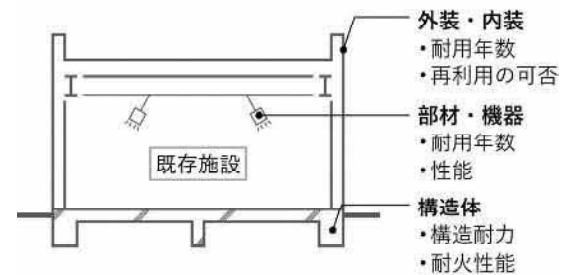
- ・大河ドラマ館・関連施設の材料や設備に関する入念な詳細調査を実施し、再利用する部位を最大化するよう検討します。
- ・上記の検討を踏まえ、再利用の可能な材料、部材、機器類を抽出し、再利用の考え方を整理するとともに、設備は修繕・更新時期を踏まえて抽出します。
- ・既存施設の解体計画を立案し、出来る限り手作業による丁寧な解体を前提として、部材の汚損を防ぐとともに、現場で発生するCO₂の削減も考慮します。

③ 改修方針及び改修範囲の検討

■ 既存施設の可能性を多角度から見極め、可能な限りのリサイクル・リユース・アップサイクルを提案

- ・既存施設を十分に調査し、下記aからeの段階を踏んで常設建築物としての利用の可能性を検討します。

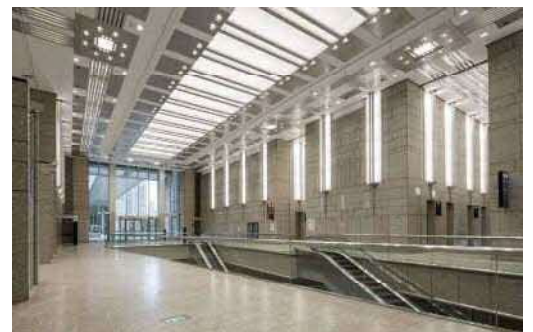
- a 既存施設をそのまま使用
- b 構造体をそのまま使用
- c 部材や機器類を使用
- d 内装材等として部分的に使用
- e 木造、木質化、再生材、地場産材活用、その他



□ 既存施設の調査項目イメージ

- ・リサイクル、リユース、アップサイクルなどに配慮し、廃棄物の縮減による処分費低減、環境負荷の低減も考慮します。
- ・既存施設の部材や機器類は、今後計画する常設建築物の規模や機能の分析に基づき、常設建築物での使用方法を提案します。
- ・解体によって取り出した部材や機器類は、保有耐用年数や仕様などを整理、リスト化し、浜松市の保有する施設での再利用についての可能性も合わせ検討します。

□ 改修工事における、天井アルミパネルの再利用実績



東京都庁第一本庁舎

④ 改修にかかる概算費用の算定

■ 時勢を正確に把握し、優先順位を設定し、将来開発も見据えた費用検討

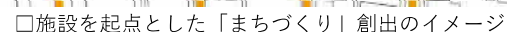
- ・擁壁や、埋蔵文化財の安全性確認のために必要な業務の洗い出しと、費用の検討を行います。
- ・再利用を前提とした解体方法について、社内外の技術者にヒアリングを行い工事費の検討に反映します。
- ・想定できる改修パターンを検討し、改修コストを比較して最適解を提案します。
- ・建設業の労働基準法改正（2024年問題）や、建設物価の更なる高騰の可能性を踏まえ、事業の優先順位を考慮し、段階的な整理が可能な計画の検討を行います。

まちづくりの視点から計画地を再評価し、将来へと展開する施設計画を提案

- ・**葵広場は文化を育む市民活動の場**として特徴的な整備を行い、**歴史を伝える浜松城と、自然豊かな中央芝生広場と連携**を促すことで、それぞれの特徴を活かした**新たな観光と市民活動の場**を創ります。
- ・**展示収蔵施設は園路に面する顔**を作り、市役所から北側に繋がる園路のネットワークに参加し、**浜松市中心市街地にもつながる周遊路を活性化**します。

- ・公園内の市立美術館に倣いお城に向けたエントランスを設け、お城を中心とした文化施設のネットワークを形成して、**浜松城の文化に触れる環境を整備**します。
- ・徳川記念財団の**貴重な所蔵品を適切な方法で公開**し、美術館、博物館、文芸館などの**市内文化施設と連携**することで、**施設規模を適正化**します。

- ・浜松城のおひざ元に徳川家の展示収蔵施設を設けることで、本物の文化財に触れられる**観光の核を創出し**、浜松駅から浜松城近郊、ひいては高根城等の**市内の歴史文化財をめぐる物語を強化し、観光や商業の活性化を促します。**
- ・浜松城と正対する葵広場を、**活動的な市民の広場**として位置づけ、浜松まつり、浜松城公園さくらまつり、出世の街浜松 家康公祭りなどの**イベントの拠点としての活用**を促します。さらに、浜松市の各所で展開している**お祭りイベントのネットワーク**を形成し、**賑わいの面的な広がり**を促します。
- ・浜松城を望む視点、高台の葵広場から街を望む視点、イベントなどの人の活動を楽しむ視点、埋設物の遺構を学ぶ視点など、時間と空間を意識した**様々な視点場の創出**に配慮します。



III 基本計画の作成【別紙1.ウ】

市民活動を支援する、安心安全の施設計画を提案します

①ア及びイに基づく当該敷地及び展示収蔵施設（付帯施設を含む）の整備方針の作成

■ 敷地や既存施設の条件を踏まえ、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備方針を作成

1. 展示収蔵施設

- ・収蔵施設は、国宝や重要文化財保護に適した、魔法瓶型の内箱構造とし、免震型収蔵庫を検討するなど安全で適切な環境を維持する施設とします。
- ・展示収蔵施設の実績を活かして、文化財に適した鑑賞空間を創出します。
- ・当該敷地は過去に様々な用途として利用されており、敷地全般に亘って建築物が建設された履歴も含め建設可能範囲を再確認するとともに、埋蔵文化財の保護を第一に都市計画の整合性や、浜松城を含む都市景観に配慮した配置計画とします。

2. 付帯施設：ミュージアムショップ、レストラン、講義室、事務スペース

- ・市民の憩いの場となるミュージアムショップやレストランを葵広場や浜松城、中央芝生広場に繋がる園路に面して配置します。
- ・ミュージアムショップ、レストランは、浜松・浜名湖地域の豊かな食材や商品、地元商店街や地元企業との連携により開発した商品の販売、「浜松パワーフード」プロジェクトなど民間活動のサポート、観光客や市民の利用などを促し、全国に地域の魅力を発信します。
- ・講義室やワークショップスタジオなど、文化を育む施設も合わせて葵広場に面して配置し、イベントでも活用できる施設配置とします。

3. イベント広場

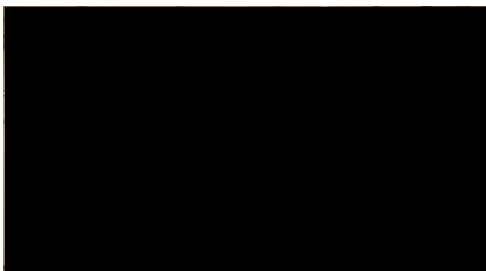
- ・身近に浜松城を感じられる場所性を活かしながら、イベントを行い賑わいを創出する広場を整備します。
- ・浜松まつり、浜松城公園さくらまつり、出世の街浜松 家康公祭りなどのイベントの拠点として利用可能な仕上げの選定や空間を確保します。

4. 整備運営方法

- ・施設竣工後の枯らし期間短縮のため、実績に基づき鉄骨造などコンクリートを使用しない躯体の採用により、工期の短縮を図ります。

5. 敷地

- ・敷地周辺のがけ地や擁壁は調査の上、歴史的価値のある城址であることから、遺構の損傷を防止するとともに、安全性を確保した対策を検討します。



文化庁新庁舎



魔法瓶型の内箱構造、空調系統を2系統とし故障時のバックアップ対策を施した鉄骨造の施設



OMO 緑豊かな広場に面した憩いの場であるレストラン、カフェ



熊本城
特別見学通路



敷地の特性や周辺環境に配慮するとともに、遺構を保存しながら新たな施設を付加



新宿三井ビル
55広場 地域の賑わい・集いの中心である広場

III 基本計画の作成【別紙1.ウ】

財団の貴重な資料や埋蔵文化財を守る、堅牢な施設計画を提案します

②仕様、機能、構造、規模等の設定

■ 財団の貴重な所蔵品を守る展示収蔵施設と、賑わいを創出する付帯施設・イベント広場を埋蔵文化財保護やICCに配慮し、仕様、機能、構造、規模を設定

1. 展示収蔵施設：文化財的価値のある遺構や所蔵品の保存・展示を両立した施設設定とします。

仕様：耐火性能を確保するとともに、防火・防犯等の各設備を適切に配置し安全性を確保します。
ICCのバランスを考慮した材料の採用と、高気密・高断熱による省エネルギーやカーボンニュートラルに配慮した展示収蔵施設を提案します。

機能：収蔵庫は周囲6面に空気層を持つ内箱構造とし、内箱内の空調のみならず、周囲6面の空気層も空調することで、魔法瓶のように収蔵品を保護する安定した温湿度環境とします。空調システムを2系統とすることで、万が一の機器故障の際も収蔵庫内の温湿度環境を維持します。構造：東海地震を踏まえ、十分な耐震性能を確保した、安心・安全な構造形式を設定します。埋蔵文化財への建物重量による負担を軽減するため、基礎は杭を用いないべた基礎とし、上部構造は鉄骨造などコンクリートを使用しない躯体により軽量化を図ります。地震の際に、収蔵品を守るため免震型収蔵庫を検討します。

規模：2万5千を超える所蔵品調査の内容を踏まえつつ、余裕を持たせたボリュームを設定します。展示室、収蔵庫、管理スペース等は、相互の連携に配慮した、使いやすく機能的な配置計画とするとともに、大小さまざまな収蔵品を展示できる天井高さや広さを確保します。

2 付帯施設：誰もが立ち寄りやすく、安心して豊かな時間を過ごせる施設設定とします。

仕様：浜松城公園や周辺の景観と調和を図り、浜松城を引き立てるデザインや材料の選定をします。

機能：来館者や職員が快適に過ごせるよう、適切な容量や照度を備えた電気設備、維持管理・機器の更新に配慮した機械設備の設定をします。断熱性・気密性の高い材料や工法の採用、自然光、自然換気の活用などを考慮し、ICCの低減に配慮した適正な配置・規模とします。講義室はワークショップや講座など市民が学び、交流し、活動を行える扱いやすさや耐久性に配慮した映像・音響設備を検討します。

構造：展示収蔵施設と同様に、耐震性能や埋蔵文化財の保存に配慮した構造形式とします。

規模：展示収蔵施設の規模を踏まえ、来館者や職員がバランス良く利用しやすい施設規模とするとともに、実例や事業費等の検討により適切な広さを設定します。

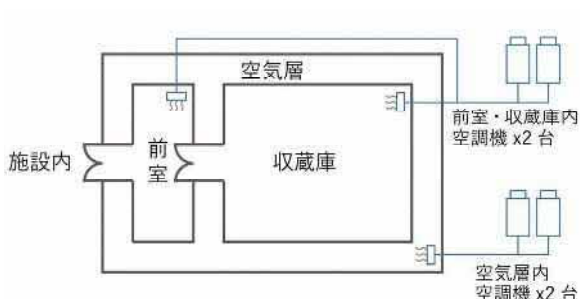
3 イベント広場：イベントの拠点として賑わいを創出するとともに、自然に親しむ憩いの広場とします。

仕様：浜松まつり、浜松城公園さくらまつり、出世の街浜松 家康公祭りなどの利用状況を想定し、耐久性を考慮するなどイベントの拠点として利用できる材料を選定します。

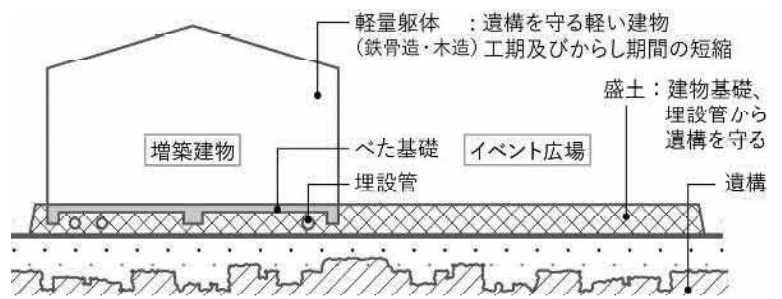
機能：市民の憩いの場となるよう浜松城を望む視点場や緑陰の豊かなスペースを整備します。

構造：文化的価値のある遺構を守るため、基礎が近接する場合は、盛土を設けた断面構成とします。

規模：各種イベントの運営規模を確認し、拠点として対応できる空間を確保します。



□収蔵庫の空調イメージ



□遺構を守る施設計画のイメージ

イメージの共有と合意形成に配慮した、合理的な施設計画を提案します

③敷地周辺の環境や景観、施設の目的に合致した施設イメージの設定

■「家康公レガシー」を保存し育む「家」のような展示収蔵施設

- ・浜松城を中心とした**周辺のネットワーク**を形成し、“歴史・自然・文化”を活かした**活動的な地域の創出**を提案します。
- ・財団の貴重な資料を基盤とした**既存文化施設の活性化を図るネットワークの形成**を提案します。
- ・**観光・商業・賑わいの面的な広がり**と、時間と空間を意識した**視点場**を創出します。
- ・「**お城を望む市民の家**」を開発テーマとした、**新しい景観を作る施設や広場の整備**を提案します。

④機能、施設イメージ等を基にした基本計画図（配置、平面、立面）、パース図等の作成

■実現性と妥当性と客観性に配慮した的確な提案

- ・基本計画図は、施設のイメージについて**関係者への正確な理解**を促すため、**3次元CADソフト**を用いて、都市景観から、施設内部のイメージを再現し、分かり易い表現となるよう配慮します。
- ・メリハリのある**複数案を比較**しながら改修方針を検討し、**市担当者や関係者との合意形成**を推進します。

	A案	B案	C案
平面構成			
長所	・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○	・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○	・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○
短所	・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○	・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○	・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○ ・○○○○○○○○
総合評価			

□比較検討資料のイメージ

⑤施設イメージの実現に最適な整備手法の検討

■将来を見据えた段階的な開発と、事業運営に配慮した発注方式

- ・マスタープランとして、歴史と自然と文化を活かし、お城や広場とのネットワークの形成に配慮した**周辺施設及び施設の整備イメージ**を作成し、これに基づいて、計画地の整備方針を整理します。
- ・段階的な開発となる場合は、**各整備単位の適切な区分や、分解点**を検討します。
- ・事業化に当たっては、補助金活用など**事業費の検討**を行います。

⑥概算工事費の算定

■建設費高騰を見据え、事業遂行のために必要な費用の設定と、優先順位の評価を提案

- ・がけ地や擁壁の安全性確認のために必要な業務を洗い出し、**調査に必要な費用の検討**を行います。
- ・想定できる複数の計画案を検討し、**改修コストを比較して最適解を提案**します。

⑦概略スケジュールの作成

■事業遂行に関する項目を網羅し、多くの関係者の連携と調整を図る工程の作成

- ・基本計画以降の各種業務や、文化財保護に関する協議、補助金等の協議スケジュール等の、**前提条件に関わる項目の整理**をします。
- ・マスタープラン作成から基本設計、実施設計、発注業務、建設工事等、竣工検査、その後の各種届け出等の**業務ごとのスケジュールを整理し、事業の全体像を把握**できるように配慮します。

⑧整備レベル、事業手法を反映したライフサイクルコストの算定

■段階的な開発と、施設の発展を見据えた、適正な維持管理費の算出

- ・マスタープランの検討に基づき、**段階整備の可能性**を検討します。各段階ごとに**整備の範囲を比較し、補助金の取得や、発注方式等の事業手法**を検討します。
- ・段階的な建設範囲の検討に基づき、**建設コスト、維持管理コスト等の試算**を行い、比較検討を行います。

持続可能性を考慮した施設運用の提案をします

⑨想定される財源の検討

文化財保護や事業継続性の観点による適切かつ持続可能な財源の確保を検討

- ・ 公的財源（補助金等）の活用について、文化財保護関連（文化庁）、ZEB関連（環境省）、歴史まちづくり関連（国交省）など、本事業に関連のある**補助金の活用可能性を調査し、必要に応じてその申請等をサポート**します。
- ・ 民間資金の活用について、施設整備時のクラウドファンディングの実施、運営資金の一部を賄う地元企業によるサポーター制度の構築など、**民間からの継続的な資金調達**を可能にする方策を検討します。また、施設整備や運営の一部において、浜松城公園や周辺エリアを含む**地域全体の魅力の向上**や事業そのものの**持続可能性の向上**に配慮した、民間事業者の参画を促す**事業スキーム**を検討します。

IV 管理運営手法の検討【別紙1.エ】

施設の維持管理や事業の運営について、法令や他都市の事例等を踏まえた上で最適な手法を検討する。

徳川記念財団の貴重な所蔵品を将来にわたって守り、継承できる管理運営手法を検討

- ・ 管理運営手法の検討にあたっては、徳川記念財団の**貴重な文化財**を“将来にわたって持続的に守り、受け継ぐこと”を最も重要な評価ポイントとして位置づけます。
- ・ 文化財を守り継承する事業としての持続可能性に加え、**効率的・合理的な経済性の視点から最適な管理運営手法を検討**します。

V 検討委員会の運営支援【別紙1.オ】

「（仮称）徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設設置検討委員会」の運営について、適切なアドバイスを行うとともに、検討委員会会議資料及び議事録を作成する。

有識者の知見が新しい施設に結実するよう、検討委員会の運営を支援

- ・ 歴史的文化施設の改修や、展示計画における検討委員会の実績を持つメンバーによる業務体制とし、検討委員会に対して**事前準備や、議題の整理等を支援**します。
- ・ 公共施設の大規模改修や、文化財の保存、歴史文化の展示等の実施経験を持つ技術者を配置し、多方面に渡る経験を活かし、**専門性を備えた適切な支援**を行います。
- ・ 業務実施スケジュールと課題の整理を、業務開始後速やかに実施し、期間中に3回開催される委員会等の進行を**円滑化するための議題提案と、スケジュール調整**を行います。

VI 関係官庁との協議支援【別紙1.カ】

国や県に対する手続きや補助制度について、適切なアドバイスを行うとともに、手続きに要する資料を作成する。

関係官庁にヒアリングを実施し、制度を理解し適切な資料の作成を支援

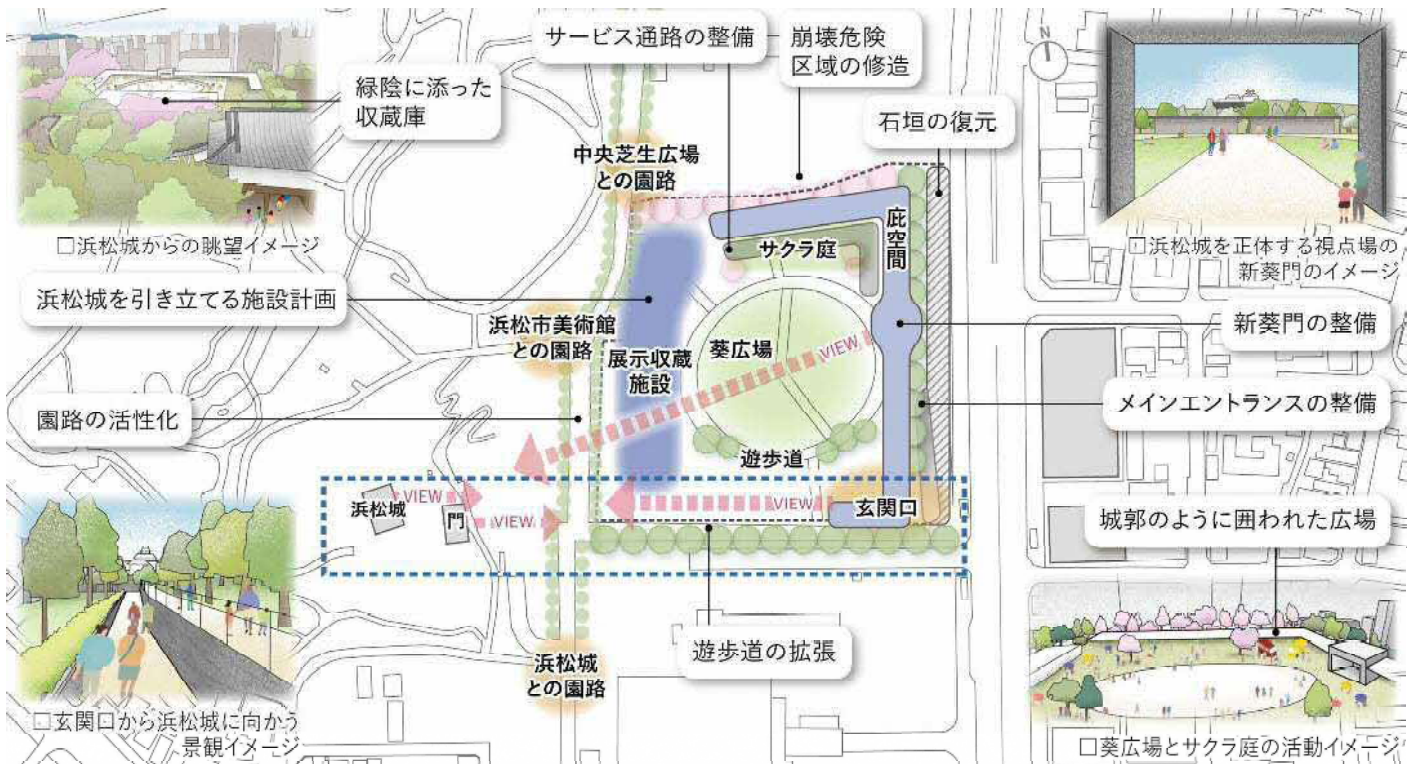
- ・ 文化庁の「文化財公開施設の計画に関する指針」や「文化財（美術工芸品）保存施設、保存活用施設設置・管理ハンドブック」について、**文化庁等と適切な時期に協議**を行い、資料作成を行う。
- ・ 各種補助金申請手続きに必要な書類や図面を整理し、**事前協議の支援**を行います。
- ・ 補助金の制度については、文化庁、文部科学省、国土交通省などでそれぞれ制度を有しているため、**該当する制度の整理**を行い、当該事業への**適用の可能性について検討**をします。

VII その他上記に付随する業務【別紙1.キ】

透明性の高い資料作成による業務サポートと持続可能な社会を支援する専門的知見

- ・ 文章の他、図版やパースを利用した**分かり易い資料作成**に配慮します。透明性を確保し、段階毎の決定事項の記録、業務経緯の整理を踏まえた資料を基に、円滑な関係各者の**意見調整を支援**します。
- ・ 将来へのより**持続可能な社会（SDGs）**となるために、いつまでも住み続けたいくなるまちづくりに繋がる施設提案を心掛けます。

浜松城への眺望を活かし、新しい景観を創出する施設を提案します

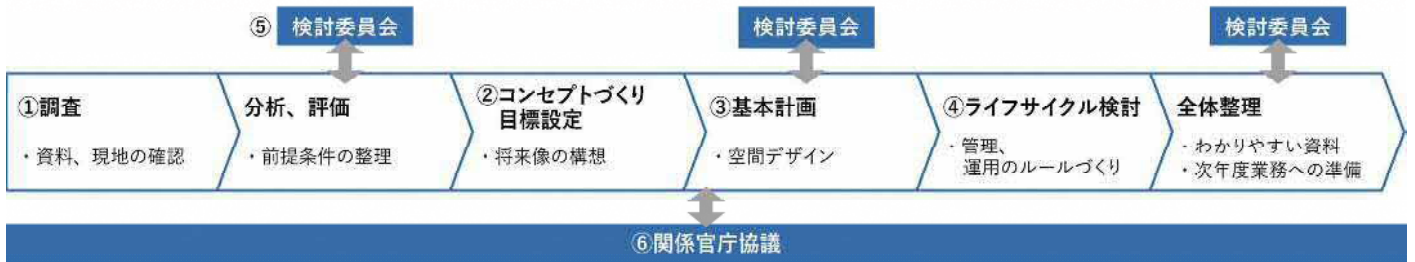


□基本計画「お城を望む市民の家」の整備イメージ

大河ドラマ館改修の基本計画において「お城を望む市民の家」を開発テーマとする6つの重点項目による改修提案

- 歴史と文化の玄関口としてのお城を望む新たな視点場**
 - 既存の車路スロープは浜松城公園のメインエントランスとして改修し、斜面を抜けると浜松城と正対するビューを持つ新葵門を整備します。
 - 市役所と葵広場との間の玄関口、遊歩道に浜松城へのビューを確保した景観軸を形成します。
 - 浜松城から市街地を望むビューに配慮し、園路の緑陰に添った展示収蔵施設、付帯施設を設けます。
- 文化財を集めて守る蔵のような展示収蔵施設**
 - 地震の際に、収蔵品を保護する免震型の収蔵庫を検討・提案するとともに、財団の貴重な資料を迎え入れるため、文化財保護に適した内箱構造の備えとします。
 - 浜松城の景観と調和し引き立てる、デザインや材料の選定を行います。
- 市民の憩いの場となるの台所のような付帯施設**
 - ミュージアムショップ、レストラン、講義室を展示収蔵施設と隣接させるとともに、葵広場、サクラ庭に面して配置することで、市民活動や観光交流の活性化を図ります。
 - 事務スペースは円滑な管理や運営を行うため見通しのよい場所に配置します。
- 市民が集う居間のような葵広場**
 - 桜や新緑、紅葉など様々な季節の変化を楽しみ、滞在を促す緑陰の豊かなお城を望む広場を整備します。
 - 浜松まつり、浜松城公園さくらまつり、出世の街浜松 家康公祭りなどのイベントの拠点や活発な市民活動を支援する場となる半屋外空間と連続する広場として整備します。
- 季節を感じる縁側のような庇空間**
 - 夏の日差しを遮り、ナノミストの蒸散効果による清涼感のある庇空間の囲いを創り、市民の憩いの場とするとともに、隣接する市役所や駐車場との連携も提案します。
- 屋外で飲食が楽しめるサクラ庭**
 - サービス通路を敷地北側に整備し、美術品搬入車のルートを作ります。
 - キッチンカーなどが設置できる、多目的な利用が可能なサクラ広場を提案します。サクラの観賞と共に飲食を楽しめる広場として、サービス通路に面し葵広場とも連携可能な広場を整備します。

持続する施設づくりの調査から実現までを目指すプロセスを提案します

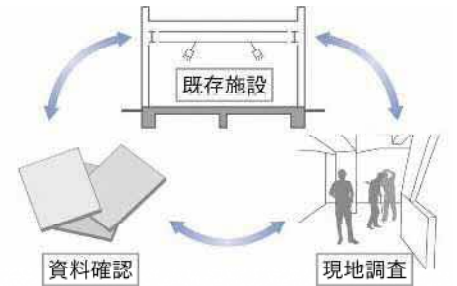


□業務実施の推進イメージ

①現状調査・前提条件の整理

資料と現地の双方向による調査・確認を実施し業務推進の基礎を整備

- 書類、図面、資料及び法令調査等、前提となる条件を整理し、仮設建物の規模や仕様、敷地状況などが抱える課題を抽出し整理します。
- 浜松市の情勢なども含め、既存施設や運用など現状を調査し、立地状況や周辺施設との関係など周辺環境を確認し整理します。
- 段階開発、IH デザインビルドなどの発注手法を比較検討します。



□理解を深める現況確認の対応イメージ

②大河ドラマ館及び関連施設の改修

浜松市のまちづくりに適合し、次世代基準を見据えた施設整備の提案

- ドラマ館の改修後の位置付けを整理し、改修のためのコンセプトを策定します。
- カーボンニュートラル、ZEBなどの次世代基準を提示し、適切な性能を提案します。また、合意された目標値を遵守します。
- 周辺施設との関連性を分析し、上位計画や業務関係者、市民要望を考慮した上で、浜松市のまちづくりに適合した施設整備を提案します。
- 外装、構造、内装、外構の各部位について、仕様、形状を確認し、数値や実績に基づいた耐久性や有効性の評価を適切に実施し、実質的な見地による改修の程度を明示します。

浜松市の上位計画	浜松城公園その他関連計画	建築物の次世代基準
- 浜松市総合計画 - 浜松市都市計画マスタープラン - 浜松市緑の基本計画 - 浜松市景観形成基本計画、浜松市景観計画 - 第2次浜松市教育総合計画 - 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画 - 浜松市文化振興ビジョン	- 浜松城公園長期整備構想 - 浜松城公園歴史ゾーン整備基本計画 - 浜松市美術館基本構想	- ZEB - CASBEE - LEED 2030年カーボンハーフ 2050年カーボンニュートラル

③基本計画の作成

専門的な見地による状況・環境の読み解きと、理解しやすさを心掛けた基本計画の作成

- 検討委員会や申請への対応が可能な専門性の高い内容、一般市民への理解を促す明解な内容など、利用目的に沿って、図面、比較表を合わせた見やすい文章による資料作成を行います。
- 専門的な見地による情報分析や、社会情勢を見据えた状況判断により、具体的な内容を備えた計画を取りまとめます。
- 提案内容について、基本事項、重要事項は、判断根拠を合わせ客観性を確保した資料として提示します。

浜松市、委員会、関係者の総意に寄り添う業務のサポートに配慮します

④管理運営手法の検討

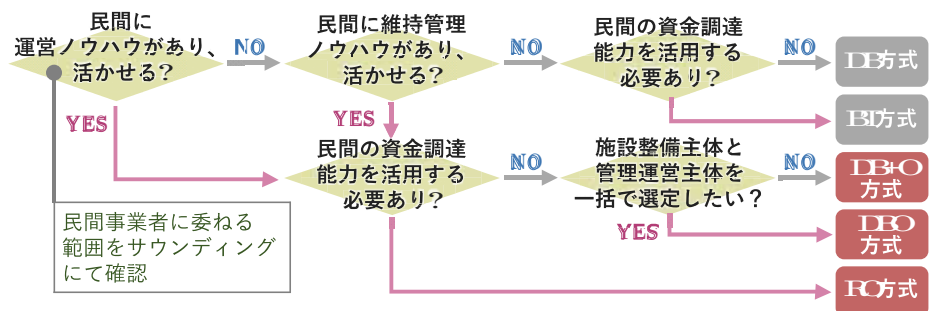
■ 各手法のメリット、デメリットを明確にしつつ、円滑な意見集約・決定をサポート

- ・過去の類似実績や他事例の調査などを参考に、当該施設の運営の参考となる手法、スキームを抽出します。それぞれのメリット・デメリットを比較し、最適な管理運営手法を検討します。

公営（市直営）	民営（指定管理者制度）	民営（PFI）
○学術性、公共性の高い業務を継続的に実施することが可能 △運営に対する費用負担が大きい。また集客をはじめ事業の企画力が課題	○専門的知見を有するスタッフ配置が期待でき、運営コスト削減が可能 △指定管理者が交代する可能性があり学術性の維持や継続が困難	○専門的知見を有するスタッフ配置が期待でき、運営コスト大幅な削減が可能 △事業運営に関わる経済的メリットが乏しく、学術性の維持や継続も困難

□一般的な管理運営手法のメリット・デメリットのイメージ

- ・限られた期間で、速やかに事業や管理運営の方法を決定できるよう、手法判定に必要な要素を体系的にまとめた資料（右図）を提供するなど、庁内や関係者間の意見集約・決定の円滑化を図ります。



□手法判定のための体系資料のイメージ

⑤検討委員会の運営支援

■ 事前調整から議事録作成まで、明解な資料作成と合わせた参加型の運営支援

- ・検討委員会の運営を円滑に進めていくため、検討委員会の期間の議題・検討テーマを先行して整理・調整します。また、開催に向けた資料づくりや事前の庁内調整への参加など、積極的に協力します。
- ・類似業務での経験値や実績をいかし、関係者の調整・意見交換が効率的に進むよう、明快な資料構成案を提案・作成します。
- ・検討委員会の実施にあたっては、敷地周辺のイラスト・CGパース等を活用した視覚的なイメージの共有により、各委員の活発な意見交換を促し、改修計画の方向性の早期の明確化を図ります。

⑥関係官庁との協議支援

■ 関係官庁の意向を受け止め、業務進捗に合わせた円滑な合意形成の推進

- ・上位計画を踏まえ、浜松城公園の段階的な整備も見据えた実効性のある改修計画の取りまとめを実施します。
- ・埋蔵文化財を所管する浜松市市民部文化財課や文化庁、文化財活用センター等、再建・復元建造物や便益施設、都市公園、インフラを所管する市・県及び国土交通省等、多岐にわたる関係諸官庁との連携を密に行います。
- ・関係官庁の関連法規や必要となる協議内容を早期にリスト化し、解決や提案をするべき要点を的確に把握し、業務進捗に合わせた円滑な協議が進む対応を行います。